

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子ども一人ひとりの障害特性を理解し、子どもの成長に合わせ充実した時間を過ごせるよう障害特性に合わせた支援に取り組んでいる
	内容	利用者の障害状況は、愛の手帳1度が2名、2度12名、3度10名、4度4名、重複障害で身体障害者手帳1級1名、2級2名、3級1名、6級1名、車椅子2名である。事業所では子ども一人ひとりの障害特性に応じその子どもに合った声かけや日中活動の支援に取り組んでいる。自閉症でこだわりが強く、自傷・他害がある例では、音楽を聴く、パズル遊び、職員と一緒に体を動かす時には集中し他害・自傷がなくなるので、余暇活動に取り入れている。利用者自由意見では「その時の成長に合わせた声かけや対応に感謝しています」との声が上がっている。
2	タイトル	連絡会、振り返り会、てくてく会議、ケース会議を開催し、子どもや保護者の要望等に沿った支援の充実とともに業務改善等に取り組んでいる
	内容	事業所では土曜日を除く毎日職員による連絡会を開催し、当日利用する子どもの支援の取り組みを確認し支援に反映している。例えば、Aさん、遊ぶ前に「終わったら片付けしてね」と声かけする。B君、言葉で要求を言えるように促す、Cさん、手先を使った余暇提供などである。土曜日には振り返りの会議を開催し、月2回てくてく会議では報告事項や検討事項について協議している。10月の会議では業務分担、D君の支援内容確認、事務処理改善、研修、避難訓練後の振り返りが議題として挙がっていた。個別支援計画作成時にはケース会議を開催している。
3	タイトル	音楽セラピーではセラピストが、楽器、リズム遊び、歌、バルーンで体を動かす等の活動で子どもの集中力や表現力などを引き出している
	内容	音楽性セラピーは土曜日に、子どもの特性により個人とグループで行っている。大きなドラムを叩いてのリズム遊び、音楽を聴きながらのダンス、好きな音楽に合わせてストレッチ、音楽に合わせてベルの演奏、クリスマスのお話、パラシュートバルーン遊び等で子どもの集中力や表現力などを引き出している。講師は一人ひとり詳細な所見とチェック項目（言葉を使わない意思疎通・自己表現・他者との関係を築く・集中力・創造性等12項目）を記録し、活動を楽しむ子どもの写真を添付している。夏休みには平日にも音楽セラピーを実施し、大好評だった。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	地域ニーズに応えるため現状の送迎範囲の検討を行い、それとともに現在利用している子どもの日程調整への取り組みに期待したい
	内容	事業所は開設前に区内の地域ニーズを把握し、送迎と昼食提供をサービスに取り入れた経緯がある。一方、事業所は隣区との区境にあり、利用者は地元区より隣区の方が多く現状である。隣区では送迎サービスを実施している事業所が多く、逆に地元区では送迎サービスを実施している事業所はほとんどない状況である。事業所としては地域のニーズに応えていないと現状分析し、送迎範囲を調整して地元区の利用者へのサービス提供を検討している。地域ニーズに即したサービス提供に向け、現在利用している利用者の日程調整を含め、今後の検討に期待したい。
2	タイトル	中長期視点に立って解決すべき課題に対応するため中長期計画の作成を期待したい
	内容	事業所では、理念・方針の実現に向けて所を取り巻く様々な状況を分析し、課題を事業計画に反映させている。平成30年度の計画では基本方針・運営方針とともに、重点項目を設定し課題の解決に取り組んでいる。以下、支援内容や職員体制・会議など計画を着実に実行に移すための推進方法を設定している。計画にリンクさせた収支予算書も作成している。しかし、中長期計画は未作成となっている。現在事業所では利用率の向上や療育活動への取り組みなど中長期的視点に立って取り組むべき課題も多いと思われる。中長期計画の策定を期待したい。
3	タイトル	キャリアアップシステムの一層の理解と周知を期待したい
	内容	法人では、「職務等級格付け基準」をもとにキャリアアップシステムを構築している。このキャリアアップシステムは、法人の職員として期待する姿勢・行動を振り返る「思い実現シート（行動評価）」と、各個人で取り組んだ目標の進捗状況・成果を振り返る「自己成長シート（目標評価）」で構成されている。「思い実現シート」は人事評価に活用し、「自己成長シート」は成長を促すことが目的のため、評価結果に反映はさせていない。しかし、キャリアアップ制度の理解が行き届いていない様子が伺われた。理解と周知に向けて一層の取り組みに期待したい。